

小樽商科大学 グローバルコース

平成30年10月30日（火）13時00分～
小樽商科大学札幌サテライト

小樽商科大学におけるグローバル人材育成の変遷

平成25年度

「NO.1 グローカル大学宣言」
ミッションの再定義：北海道経済活性化に資するグローバル人材の育成

平成27年度

グローバルマネジメント副専攻プログラムの導入

平成28年度

グローバル戦略推進センター本格稼働

平成30年度

ギャップイヤーパイロットプログラムの実施

新たな4副専攻プログラムの導入

グローバルマネジメント副専攻プログラム開始後、3年間の教育成果を踏まえつつ、当初構想していた海外の教育資源を活用した特色ある教育プログラムを構築

平成31年度

ギャップイヤープログラムの導入

平成32年度

グローバル総合入試の導入

平成33年度

グローバルコース【主専攻プログラム】の導入へ

小樽商科大学の「グローバル人材育成」

- ・グローバルマネジメント副専攻プログラムを主専攻化
- ・学部4年間を通じたグローバル教育
- ・留学を必修化（ギャップイヤーアブロードまたは事情科目）
- ・定員20名
- ・独自の入学者選抜を実施
- ・H33年度から本格運用（H32年度にグローバル入試を実施）

北海道経済の発展に寄与する
「グローバル人材」の育成

グローバルコース

主専攻プログラム

グローバル
マネジメント
副専攻プログラム
(H27年度開設)

小樽商科大学
副専攻プログラム
(H30年度開設)

- ①経済学
- ②経営情報
- ③ビジネス法務
- ④アカウンティング

副専攻プログラム

地域キャリア教育

- ・地域連携型PBL
- ・インターンシップ
- ・充実した地域志向科目「地域学」他

地域・グローバル志向の専門教育

- ・地域の視点やグローバルな視点に基づく専門教育科目
- ・地域連携型のゼミ活動

語学教育・異文化理解教育

- ・海外事情科目（語学研修等）
- ・留学（語学研修・交換留学）
- ・実践的語学教育
- ・異文化理解教育

短期留学プログラム学生のための教育

- 交換留学生のための英語で行う講義
- ・グローバルセミナー 他

全ての学生に開かれたカリキュラム等

学生による起業

地域貢献型の課外活動

教育改革加速

- ・学事暦改革（クォーター制、ギャップイヤー導入）

- ・海外協定大学の拡大

- ・グローバルブリッジ教育プログラムの拡充

- ・地域連携ブリッジ教育プログラムの拡充

小樽商科大学グローバルコースの概要

平成33年度入学生～

【教育目標】

地球規模の視野で学び、異文化理解力に優れ、卓越した言語コミュニケーション能力を活用して、複雑化する地域社会の諸問題を解決するための資質を有する人材の育成を目標とする。

★想定する修了生の就職先：

グローバル企業、官公庁・企業の国際関連部署、観光・サービス関連業者、国際公務員、シンクタンク、など

開始時期	平成33年度入学生～
位置づけ	主専攻
定員	1学年：20名
所属	入学時～ (学部4年間を通じたグローバル教育)
留学	原則必須 (入学前) ギャップイヤープログラム or (初年次) 事情科目
選抜	★独自の入学者選抜；グローバル総合入試（平成32年度に実施） <ul style="list-style-type: none">■ 総合型選抜（現行のAO入試）■ 選抜方法：英語力（4技能）とコミュニケーション力を中心に評価■ 合格者のうち希望者はギャップイヤープログラムに参加可能（定員5名）

グローバルコース：カリキュラムの特徴

★学部4年間を通じた徹底的なグローバル教育

- ・初年次からゼミナール系科目を配置し、グローバルなビジネス社会で通用する人材を4年間を通じて育成。
関連科目：基礎ゼミナール（英語系）、グローバルセミナーⅠ～Ⅳ、卒業研究論文（英文） …計12単位

★初年次までの留学を必修化【ギャップイヤーアブロード】

- ・ギャップイヤープログラム参加学生 → 入学前に留学（5月～12月）
- ・その他の学生 → 初年次に事情科目（アジア・オセアニア事情、ヨーロッパ事情、アメリカ事情のいずれか）を履修することを必修とする。
※事情科目とは、海外での語学研修に事前授業・事後授業を組み合わせた授業

2年次以降の長期留学【ジュニアイヤーアブロード】（任意）へ ※大学として強く推奨

★世界で通用するビジネス・経済を、留学生とともに英語で学ぶ科目を豊富に用意

- ・キャンパス内にいながら、海外留学と変わらない学修環境を創出
- ・多様な文化・価値観を持つ留学生とともに英語で意見を交わしながら学びあい、真のグローバルな人材へ

【平成30年度現在】

マネジメント系科目	経済系科目		学外学修科目
グローバルマネジメント入門	ビジネス経済学Ⅰ	国際経済学	グローバルインターンシップⅠ
アジア太平洋におけるマーケティング戦略	ビジネス経済学Ⅱ	日本経済	
世界の中の日本企業	実証研究入門	アジア太平洋経済協力	グローバルインターンシップⅡ
日本的経営入門	グローバルフィールドワークⅠ	グローバルフィールドワークⅡ	

地元企業等と連携し、留学生と共に地域課題に取り組むPBL型の授業も配置

ギャップイヤープログラム（入学猶予制度）

平成31年度～実施

<平成31年度・平成32年度>

- 入学合格者の入学を**1年猶予**し、海外留学プログラムを受講
※平成30年度にパイロットプログラムを実施中
- 対象者：5名以内
- 研修先：ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ（KCC）
- 派遣期間：事前指導（4～7月）、海外研修（8～12月）
（※平成33年度入学生からの海外研修は、5月～12月）
- 費用負担：対象者の学費・生活費等の一部を補助予定
- 要件：一定の語学力が必要（英検2級A、TOEIC650、TOEFL500以上）



1. プログラムの流れ

- ① 入試合格者の中から、対象者を選考（5名以内）。
- ② 対象者は、本学の科目等履修生として、4～7月に事前の指導を受けた後、ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ（KCC）で1セメスター（8～12月）、語学やマーケティング等の授業を選択履修。
- ③ プログラム修了後、必要に応じ事後の振り返り学修等を行った後、小樽商科大学に入学（翌年度4月）。

2. プログラム参加への支援・要件等

- ① 平成31年度実施プログラムでは、対象者の学費・生活費等の一部を補助予定。
（派遣期間中の総費用見込160万円で、100万円を補助予定。）
- ② KCCでの履修科目の幅を広げるため、対象者に一定の語学力を要求（英検2級A、TOEIC650、TOEFL ITP500以上）。
- ③ KCCで履修した科目を審査の上、本学の単位として認定することが可能。

- 海外での長期学外学修を通じ、国際感覚の涵養や自律的な学習習慣を確立
- 入学後の地域志向科目の履修や更なる留学等を経て、高い資質を持った「グローバル人材」となることを期待